

# が ん ば

島三小育友会報  
行 部  
発 報 刷 所  
広 報 刷 所  
印 刷 所  
つるかわ印刷所

第50号



## 島三小創立記念 小運動会

児童会長

### 開会のことば

みなさん、きょうは、ぼくたち島三小の百三年の創立記念日です。創立記念日とは島三小の誕生日のことです。誕生日のお祝いとして、毎年小運動会がおこなわれています。今年はこの小運動会を自分達の力で、やろうと、児童会を中心に、みんなで相談してとりくみました。きょうまで、その準備で忙しい毎日でした。みんなできょうんだため、色々な勉強をしました。

児童会長 原口博光

開会のことばより

## ごあいさつ

育友会長 本 田 武 彦



名譽ある三小育友会長を重ねておうけすることになりましたが、その責任の重大さ自身のひきしまる思いがします。今後一年間を、会員の皆様に助けていただいで、三小育友会のために、力の限り働きますことをここに誓いいたします。

幸いに副会長には練達の坂本博幸さん、藤山貞子さんが就任なさいます。役員にも経験ゆたかなベテランの方が多数おいでになりますので、私もいささか意を強くしております。

なお五十二年度の事業計画につきましても、代議員会、総会の承認を得まして、各専門部で部長さんを中心に活動

を開始しております。本年度は特に保健給食部が新設され、これまではつきりしなかつた学校給食に鋭いメスが入られるものと期待しております。皆様におかれましても、お気づきの点がございましたら、私なり、お近くの役員の方へドンドンお申し出て下さいますように、お願いいたします。さらに又、三小育友会は歴代会長ならびに、役員にその人を得ましたことと、会員の皆様の御協力とによりまして、全国にその存在をほこることのできる、模範的な団体として定評を得ております。私達は今後もひきつづいてこの栄光の地位を保持することにとつとめ、より大きな教育効果をあげていきたいものです。

私は会員の皆様の御協力により、いま申しあげましたような念願を達成いたしたいと存じます。どうぞよろしく御支援をお願いします。

# 家庭とは



学校長 原口 晃



○夫婦とは  
 ・夫は妻に対して家庭を守って子供の世話をしてくれてありがたいと、妻に対して感謝と信頼をもつようにしたいものです。  
 ・妻は夫に対してお父さんは外で家族のために一生懸命に働いてくださってありがたいと、夫に対する感謝と尊敬をもつことが肝心でしょう。  
 ・夫は妻をいたわり、また妻は夫に従って、無我の心で「ハイ。」の精神で従っていくことは誠に古風だが、これ以上の生き方は他にないと思います。夫婦円満の本当の姿です。  
 ・子供は、このような両親の姿をみることによって、素直に、すくすくと正しい成長をしていくのです。  
 ○父親と母親とは

・父親に対し  
 母親が一步ゆずって、父親を一家の中心に立て、行動によって子供たちに示してやるのがよいと思います。  
 「お父さんがきびしくなるときは、心の底ではあなたがたを立派にしたい、たくましい人間に育てたいという気持ちで、ああして叱ってくれたんですよ。」  
 といつてきかせるのがよい。  
 このように、子供に父親の立場を理解させるのが母親の役目だと思います。  
 ・母親については  
 父親は陰で子供に対し「お母さんはお前たちのためになら、どんなことでもしようという気持ちでいっばいだよ。本当にお母さんは偉い人だよ。」と常にほめるようにしたいものです。  
 子供は父親を更に偉い存在だと思ふようになり、母親に対する信頼度を大きくするものです。  
 ○明るい家庭とは  
 ・親は兄弟姉妹を人格的に平等に扱うことが大切です。

うっかり兄弟姉妹を比較しないようにしましょう。  
 ・長幼の順序はいつも考えておきたいものです。  
 兄弟を先にすることです。そうすると、兄弟は責任を感じて、弟妹に親切を尽くすようになると思います。  
 ・ほんのちよっとでも、自発心が芽生えたら大きくとりあげて認め、ほめてやることは極めて大切なことです。これが自立心につながっていくのです。  
 ・親のことばどおり、子供の運命はつくられていくことを知っておくべきです。  
 「三つ子の魂は百まで。」  
 というのは真理であり、どんなことばだろうと、不用意に言ったことばも子供の心の底にきざみこまれるのであります。  
 ◇どんな使いたいことば  
 「お前は、立派な子だ。」  
 「悪いことをするような子ではないんだ。」と、平生常に言いつづけることです。  
 「お前は正直なよい子だ。」  
 「お前は頭もよい筈だ。勉強もよくできるのだ。」など、過大評価でもよい。心からしみじみと感情をこめて言うぐらゐの余裕がほしいものです。  
 このような肯定的な断定的な言葉ほど効果的だと思えます。

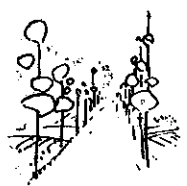
◇言つてはならぬ禁句  
 女の子ばかりのとき、「男の子が欲しかった。」  
 「お前はバカだ。」などは非行児をつくる最大の原因だと知っておくべきです。  
 また、子供の前で、母が父の、父が母の悪口や、けなし言葉を言つてはならぬと思ひます。  
 それに、子供に対する夫婦祖父母の意見のくいちがいを常に調整して、子供の前

## 家庭訪問の話題から

### 話題から

教諭(学級部担当) 西田 康 男

本年度の家庭訪問は、皆様のご協力のおかげで、予定期間中(五月六日―十三日)に順調にすませることができました。ありがとうございます。  
 各ご家庭にお伺いして話したことは、とても一ページや二ページには収まりませんが、生活領域毎にまとめてみますと、次のことがそれぞれの領域での話題の横綱として浮かび上がってきました。  
 一、学習面  
 ・本年度の家庭訪問は、皆様のご協力のおかげで、予定期間中(五月六日―十三日)に順調にすませることができました。ありがとうございます。  
 「家で勉強させるには、どうしたらいいのでしょうか。」  
 このひと言にご両親(特に母親)の願いがこめられている感じがします。  
 この中で更に具体的に言いますと  
 ・宿題を毎日出して欲しい  
 ・学習塾にやったものかの二つが勉強についての最大の要望であり質問でもあります。  
 宿題については、学級の学習の進度、担任の教育方針等



では同じしつけをすべきです。  
 要するに、家庭では、父母が中心で、この二人のお互の調整こそが最も重要であり、この二人がすべてに對し、感謝と真心さえあれば万事はおさまり、良くなるものです。  
 即ち、家庭とは、父母お互の感謝の場であり、その感謝こそ、子供の教育の最も重要な解決策であると思ひます。

が う ば

(3)

によって多少の学級差があり  
ますが、主として復習・ドリ  
ルがその内容で、授業で学ん  
だことの定着をねらうもので  
す。従って復習のくせがつい  
ていない子どもには宿題は出さ  
なくてもいいと言えるでしょ  
う。

宿題がないと勉強しない子  
どもは、①何を勉強していい  
かわからない。②勉強より遊  
びが好き。で、殆どの子ども  
は②でしょう。しかし①がわ  
かれば自主的学習もずいぶん  
多くなってくるのではないで  
しょうか。

学習塾について  
近所の子どもが行っている  
のでウチの子も……というご  
意見が多くあり、塾ブームも  
ここまでやって来たのだなと  
思いました。

塾を否定はしませんが、何  
を勉強するのかさせるのか、  
子も親もハツキリした目的を  
持つことが大切です。

また、塾での勉強ですが、  
子どもの現在の学力を診断し、  
それに応じて個々に勉強の内  
容を違わせてやらせるのなら、  
その塾の先生は信頼できるで  
しょう。

この頃は塾も産業化してき  
ましたから、簡単に商策に乗  
せられないように、できれば  
学級担任にご相談してください

ればと思います。  
二、生活面  
「学校ではきびしくしつけて  
ください。」

これがご要望ナンバーワン  
でした。  
きびしくという言葉に、教  
師への学校への期待を感じ、  
担任たるもの心を引きしめる  
のですが……

所で、しつけには学校でや  
らなくてはならない面と、家  
庭でぜひやらなくてはならな  
い面があります。

学校では次の六つのことを  
本年度の生活課題として取り  
上げ指導の徹底をはかってい  
ます。

- ・落ちついた行動をしよう。
- ・物を大切にしよう。
- ・学校をきれいにしよう。
- ・礼儀正しくしよう。
- ・健康な体を作ろう。
- ・仕事に責任を持とう。

この中で、家庭でもやらな  
くてはならない項目もありま  
す。これは学校任せにしない  
で、ぜひご両親もしつけ教育  
に参加していただきたいもの  
です。

きびしくというご要望には  
指導の必要な時に適切に、一  
貫した方針で、根気強く指導  
するというところでやっってい  
たいと考えております。  
三、保健面

「テレビの見過ぎで視力が低  
下する。睡眠時間が足りなく  
なる。」  
「球技練習で疲れて勉強しな  
い。」

小学五年生の一日のテレビ  
視聴時間は平均すると三時間  
四十分を超えます。のんべん  
だらりと、テレビに遊ばせて  
もらっているような、ながら  
視聴がこの頃は多いのです。  
これではテレビの由来です。  
テレビにはチャンネルのほか  
に電源スイッチもあることを  
確認して、テレビを家来にし  
てしまいたいものです。

球技の練習については、子  
どもクラブの申し合わせがあ  
ります。時間についてもきま  
りがありますから、もう一度  
確かめてください。

以上二、三の話題について  
記しましたが、学級育友会等  
で、もつともつと話し合っ  
ただければと思います。  
くわしくは、学級部会だよ  
りにものせます。



親子の  
地学教室の  
出席して

創立百周年記念事業の一つ  
として造られた「岩石園」  
これにちなんで、去る五月十  
五日「親と子の地学教室」  
「火山と地質、岩石講座」が  
開かれました。市民文化講座  
のこの会には、島原地学研究  
会(約二十名)の方々をはじ  
め、校区内はもとより校区外  
(約二十名)からも多数の参  
会者(合計約百名)で大盛會  
をおさめました。午後一時半  
よりの開会でしたが、振り返  
した寒さの中にも沢山の方々  
が、次々と席をうめ途中椅子  
を加える程となりました。三  
小理科専科の山田先生による  
「島原半島の火山について」  
と言う演題で、スライドや実  
験を混じえ「島原半島誕生か  
ら今日に至る変化」をわかり  
易く話されました。出席者の  
約半数と見られた子供達も興  
味深げに見・聞き、実験にと

目を輝やかし、又大人達も教  
科書とにらめっこして過した  
遠き日を思い出しながら、現  
代のわかり易く面白い地学の  
お勉強に耳をかたむけました。  
次に上五島高校の早田先生に  
よる「島原半島の岩石と地質  
の講演がありました。講話の  
後写されたスライドには顕微  
鏡からのぞかれた石の世界  
そこには素人の私共でさえ目  
を見張らせる程の、石の美、  
と計り知れない神秘さがあり  
ました。講師は「この岩石に  
とりつかれた」とおっしゃっ  
てましたが、うなづける思い  
でした。知れば知る程素晴ら  
しいものだなあと感じました。  
此の会に親子で出席出来たと  
言うことは素晴らしい事では  
なかつたかと思えます。

親と子の対話にも連なるも  
のですし、只単に固苦しい「  
講演会」と言うものだけを持  
って来るより時には此の様に  
「親と子でできる」形式もよ  
いものだと思えました。教養  
部の年間事業の一つでありま  
したこの講演会の様な催しが  
今後も数多く開かれることを  
望みます。  
(広報部取材)

一年 吉田二三子

新一年生、お友達だった人と別れて新しいクラス、初めての日、「心配せんでもいいさまた新しいお友達の増えるけん」。子供は元気に登校する。一人の友達が出来て、その人の友達がまた友達になつて、子供は友達作りの名人、そして遊びの名人、友達と遊ぶと目が輝く、ぶと目が輝く、声が大きくなり、表情豊か一本のなわと遊びを教える、遊びを教える、ケンカしてないたり笑つたり知恵を出しあつたり、そしてまた明日も遊ぶ。「お母さんお友達の出来たけん学校の庭で遊んでくるね」。

特二集 遊びと友達

言う人ね」「お友達になつたばかりで名前はまだ覚ええらんとさ、でも約束したけん行つてくる」。子供は誰とでも遊ぶ、名前を知らなくても、公園でも行きずりの友達と砂遊びに熱中する。「A君と遊びなさい」「お

母さんには関係なか、自分の好きな人と遊んでよかろうもん、この時の友達は同級生のつながりが横のつながり、縦のつながりが増えたら、もっと変化する、成長するでしょう。でもいい友達は宝もの。XXXXXXX

一年 松尾那津子

育友会の新会員になつて、早いもので二ヶ月になります。始めての一年生のお母様方もそろそろ安心されていらつしやる事と思います。学校になれてくると、今度は遊びと言うことになりませんが、今までと違つて下校後が主になつて来ます。

私の子供は特殊な環境の中の生活です。学校の子供達全員が友達みたいなものですが、町内の子供達との接触が余り見られません。私達の小さい頃は、町内ぐるみでしかもごく身近な自然を相手に、遊んだように思いますが、今の子供達は、やれ塾やおけいこと、時間に追われ、合間に家の中で買つて与えられたプラモデルを相手に遊んでいるのが現状ではないでしよか。

私もその仲間に入るのかも分りませんが、それにしてもこれだけ児童公園も出来、遊ぶ場所が与えられていくようなのですが、私が見ている限りでは、ソフトボールの練習場になつたり、大きな犬を走らせて見たり、下校後に子供達だけで遊べないのも無理からぬことと思います。

私達はまだ、今の町内に来て一年です。町内の子供をよく知りません。時々、上級生に声をかけてもらつて、一緒に遊ぶことを望みます。今はほとんどの家庭が共働きで、仕事から帰つて来ると家の用事が忙がしくて小さい子供なんか特に目の届く所、家の中に限られてくるのは我が家も同じです。

三才になる下の子とないたりなかりしなから遊んでいてのですが、外で遊ばしてると不思議とけんかがおこりません。子供も表で遊びたい欲求不満から、けんかがおきるのではないでしよか。これから特に日没までの時間が長くなり表で一緒に遊んでほしいと思います。

第一回の学級相談会で、次の議題として「下校後の遊び」を提案しましたので、また違つた意見を聞けるかと、楽しみにしております。

四月七日、雨あがりの水溜りを気にしながら、母親として初めての入学式に臨みました。島原市立第三小学校、長女は今日より一年一組。世に言う長く苦しい、つめこみ教育との闘いが始まりました。

昭和二十七年、一から五十までをやつと教え、五十音などとてもじゃない、なんとか自分の名前が書ける程度で入学して学校とは、多勢の仲間にあえる所と夢中で遊んだ私の時代と違い、あまりにも豊富な知識を持つ今の子供達、そしてPTA。顔を合わせては、宿題、ピアノ、お習字、そろばん、他に話題はないのかしらと、気楽な幼稚園生活を懐しむほどの有様です。

長女が虚弱だったせいか、何よりも健康な体をと、勉強より太陽の下で逞しくという私ののんびりムードは通用しないのでしよか。時々、お

友だちが訪ねてきても部屋の途中で、せいいぬり絵やお母さんごっこ。「お天気がいいから外で遊びなさい。」と言えば、「何をして遊ぶの？」とたずねられる。そうなのです。益々加熟していく受験地獄がこの静かな地方都市にまで押し寄せている今日、春夏秋冬、三、四年生ともなれば殆んどの人がそれぞれの塾に通うため、かくれんぼ一つしようにも人数が揃わないのです。

都会と違い、周辺には空地あり、公園あり、それでも発刺とした子供達の笑い声を聞くことは、久しくない様に思います。親にはすぐ我がままなの遊び相手が少ないせいか、初対面でも実にうまくあわせるし、めつたにケンカなどにはなりません。なんと気まえよくお互いの宝ものを交換し合つては、そのままポイ。物に対する執着心など、至つて薄いように見受けられます。

そして夕方ともなればピタリ、テレビの前。まるで画面に吸いつくほどの近距離で、口を半ば開いたまま、もう何も耳に入りません。

今はもう、ピッケとキャン

今はもう、ピッケとキャン

が ん ば

(5)

デイのことで心はいっぱいな  
のです。もしかしたら、うち  
の子供たちにとっては、これ  
が一番の友人なのではないだ  
ろうかと考えこむほどに。

だから、せめて学校での集  
団生活が競争心だけで終るこ  
となく、幼いながらも、いた  
わり、かばい合う心と、のび  
のびと時を忘れるほどに楽し  
い時間を持つことができたな  
ら、その身心にどんなに大き  
な糧となるでしょうか。と同  
時に、その源は何よりもまず  
健全な家庭生活の中にあるこ  
とを思えば、私自身、常に大  
きな心で子供達を見つめられ  
るよう、努力してゆかねばと  
考えております。

おわり

二年 岩本子春

共に遊ぶことによって、友  
達は、つくられ友とどのよう  
な、遊びをするかによって、  
その子供の人間形成が、なさ  
れていくものではないでしょ  
うか。また、もう一つは、子  
供の、人間形成をしていくも  
のは、親のしつけが、いかに  
家庭によって、なされるかで

決定づけられるのでは、ない  
でしょうか。家庭のしつけは、  
親の責任によって、なされる  
ものであって、ここで述べる  
ことはさしひかえます。

さて友との遊びが、いかに  
子供の人間形成に重要な、要  
素をもっているか、ここで、  
共に考えてみたいと思います。  
人には、理性があります。  
よく家では、親のいうことを  
よく聞いていい子なのに、友  
達と遊んでいて、問題を起こ  
した、そのような時に、共に  
いた子供が悪いようないい方  
をする親が、いらっしゃるよ  
うですが、それは間違いで  
ないでしょうか。私達大人も  
群衆心理というか、責任転嫁  
をする場合が、あります。子  
供達も何人かいると責任が、  
軽くなったような気がして、  
普段いい子でもそういう場合  
が、ないといえません。

よくいい友達、悪い友達と  
決めて「あの子とは遊んだら  
いけないよ」と、言われる方  
が、いらっしゃいますが、そ  
の本人にとっては、親に話せ  
ない事を、話せる友かもしれ  
ません。そのために親の観察

が必要になるわけです。

よくお父さん達が、昔の悪  
友と会えるとか言って、なつ  
かしがられることがあります。  
ようするに、子供達もいろい  
ろな、経験をつみ成長してい  
くわけです。小学校の年代で  
は、友達に左右されることが  
多く、自分の行動をおさえる  
ことが、出来ない場合があります。  
それが、ために悪いと知り  
ながら行動することがありま  
す。ただ問題は、前に述べた  
ように親の観察により、友と  
の遊び、また行動に間違いが  
あった場合、子供の将来を考  
え、すこやかに成長できるよ  
うに注意することが、できる  
にかかっているのではない  
でしょうか。

三年 岩崎暁子

「ただいま」と、元気な声  
がしたかと思うと、ランドセ  
ルを、さっと置き、「友達のと  
ころへ遊びに行つて来るよ」  
と、言つてすぐに出かけてし  
まう娘、その時の子供の目は、  
実に生き生きとしています。  
ある日、夕方帰宅するなり、

「お母さ」自転車の補助車を  
はずして、もう補助なしでも  
乗れる様になったから」と、  
言うので、「どうして乗れる  
様になったの」と、聞くと、

「お友達の自転車に乗せても  
らって広場でいいこさせても  
らった」と言うことです。今  
まで家では、私と広場に行き、  
何回となくいいこして見たの  
ですが、思う様に乗りきらず  
にいたのが、事実上手に乗る  
のを見てびっくり、友達とは、  
たいしたものだと感心しまし  
た。

幼い時、近所に同年令の子  
供さんが、いなくいつも大人  
とばかり過していたせいか、  
幼稚園に行つても、一人ぼつ  
ちで淋しそうに友達の遊ぶの  
を、ながめていた消極的な子  
が、学校へ行く様になるとど  
うなるのかと心配していました  
二人三人と、友達も出来、仲  
良く遊んでいる所を見てとて  
も嬉しく思います。親の後ば  
かり追いかけていた子が、友  
達が一番よいせいか、ぜんぜ  
んついてこなくなり、随分成  
長したなど、思う反面少々さ  
みしい気持にもなります。

学習も、もちろん大切だと  
思いますが、幼い時からの友  
達同志の触れ遊び、たまには  
けんかもしながらの毎日、こ  
れが、永い人生の間の重い比  
重を占める様になるのではな  
いでしょうか。

四年 内田洋子

私どもの子供の頃は、良く  
遊び良く学べと言われむしろ  
遊びに興ずる毎日であった様  
に思います。学校から帰りま  
すと近所の大勢の友達と小川  
で魚を取つたり、野山をかけ  
廻つたりして自然と親しみな  
がら成長して居ります。当時  
はテレビはないし、遊びと言  
つたら全て友達と一緒にした。  
現在の子供はどうでしょうか。  
毎日毎日が塾通いです。一週  
間スケジュールいっぱい、そ  
れに家に居りますとテレビの  
前に釘づけという事になり果  
して友達と遊ぶ時間はあるの  
でしょうか。私の家にも二人  
の子供が居りますが父親の仕  
事の都合で転校が多く小学校  
を三回六年生の子供は変つて  
居ります。一番心配になった

のは友達関係です。類は類を呼ぶと申します様に同じタイプの友達が多い様です。熊本の小学校に行つて居ります時近所にとつても仲の良い友達が居りまして宿題する時もプールに行く時も、もちろん遊びもいつも一緒でした。家族でどこか出かけ様と言つても約束があるからといって友達と遊んで居りました。子供の友達を大切にすゝる気が解りながら、転勤のため引き離すのが残酷で心苦しい思いをしました。が、島原に参りましてしばらくして手紙のやりとりを始めました。学校の様子や先生、友達の話、家庭や自身の事と内容は多種多様です。三年近く続いた今では文もまとまりが着いて来ました。行動も友達に知らせても恥しくない様に心掛けて居るのでしょいか交つて来ました。情操面も豊かになって来た様に感じます。学校の教育、家庭の躾では得られない子供に必要な大切なものがたくさんあります。互譲精神等体験して初めて生れるのではないでしょう。子供は子供同士自由の遊びのびと遊びながら健康的にたくましく力強く又自身の行

動と判断力を養つて行くものと思ひます。私は現代の子供は余りに本當の自由がなさ過ぎると思ひます。もつとも自然に大地に裸で馴ませる様、親の心掛けが必要ではないでしょうか。

五年 牧島一郎

一、設定

ひとりである子供が、自分の前に美味そうなお菓子をいれた皿をみつけた。ところが子供はお母さんのお許しが出来なければお菓子を食ふことができないとしつけられているので、どうしようかと躊躇する。もし子供が、お皿の菓子に手をつけないままですましたら、それはお菓子と子供との中間にいらこんだ現象によつて子供の行動が決定されたと考えなければならぬ。このような中間者は発達過程がすすむにしたがつて次第に大きな役割を演ずるようになる。

二、右記のテーマによつて性格を二分した場合、内向性と外向性に分けられる。

①内向性は内側に向つて開発され思索を事とし自己の思

想のつみあげ、自分の感情をすずかにかみしめることなど自己への集約的傾向を示す。

②外向性は開発された感情が外側に向かい外のあらゆる現象に興味を示し、他人に働きかけることを好み、行動的で社交にすぐれた個性を示す。

む す び

以上によつて学業と家庭の両者を併せて児童の将来を最優先的に思考し、教育指導者と家庭指導者とのコミュニケーションを友好的に考えるべきである。理想的な追求も大事であるが、日々の現実をとらえて、児童の心理現象を研究資料として、将来の社会人としての指導を学校と家庭が一体になつて考えるべきである。

遊びも友達も個人によつて個性がそれぞれ差があるが、学校と家庭のれんけいプレーによつて最少限の歯止ができる。



六年 中西八重子

最近の子供は大変忙しい。勉強塾、ピアノ、珠算と色々な塾通いに小学生が学校から帰つてこれ等をやり通すのだから、従つて遊ぶ時間がほとんどなくなり、戸外で元気に遊んでいる子供は少ない。

人との受け答えもはきはきと物を言う事が出来、昔の子供に比べしつかりしている。

これも年々高度化して行く学校教育がそうさせたのか、社会情勢なのか、私のような凡人には解らない。

私が学生の頃、大変負けずじらいで勉強をしたものです。しかし成績は上つたのはたしかでしたが、友達が少なかつた。勉強に夢中になると孤独になるのか、友達の中に溶け込んで行けなくなるのであるうか、私は自分の子には味あわせたくない。

せめて小学生時代迄は大いに運動に、遊びに、思うぞんぶん飛び廻つて欲しい。

つきあい、どうか、ふれあい

を学ぶ事が出来、友人を大切にしようになると思ひます。私の子は六年生の女の子ですがスポーツが大好きで、自分の目標に一生懸命頑張つて居る。スポーツの友達、近所の友達、学校での友達と、友達もたくさん、学校から帰つたら夕飯迄家に居る事は少ない。家に帰ると夫が友達である。日曜日には

「香名、今日は三會神社迄走ろう。」

「きつか、いや。」

「ドライブインでうまい物食べさせるぞ。」

「うん、行く。」

こんな会話を聞き乍ら私は二人の走る姿を頭の中に思ひ浮かべ、我が子の天真爛漫さを嬉しく思ひます。

この子供達も、やがては高校入試、大学入試、就職と次から次と難関に、ぶつかつて行かなければなりません。

それに打ち勝つて行くにも、大いに体をきたえ、友達との友情を深め、心豊かに、たくましく、小学校を飛び立って欲しい。

# 学校検診について

学校医 平野 進

私が三小の校医に就任したのは昭和二十七年と思うが、当時「トラコーマ」は二五〜三〇%で、四人に一人はこの眼病にかかって居り、又二期の検査時には「ビタミンA」の欠乏で起る結膜乾燥症（夜盲症）を相当発見し、学内で肝油の投与をしたものです。「トラコーマ」の治療にも学校当局は勿論のこと、私等校医も相当の労力を費したものです。その為眼科のみ年二回の定期検査が義務づけられ、各人一人一人眼瞼を翻転して（ヒツクリ返して）検査することになって居りました。然し現在では私等専門家が見てこれが典型的な「トラコーマ」ですと他人に示すようなものは殆んどなく、あっても疑似程度のもので、その疑似症でさえ、全校に多くて数人で、二十五年以前のことを思うと隔世の感がします。如が「アポロ」が月に打ち

挙げられた頃より、球結膜（白目）に出血を伴う急性の結膜炎が流行し始め、その感染力が強く、しかも潜伏期間が短く、その病原体が「ピールス」の為、適当な消毒薬がありません。熱消毒より他に完全なものはありません。私等眼科医の手を熱気消毒することも出来ませんので、大変減少した「トラコーマ」を見ずる為、危険を侵してま

## 専門部に 保健給食部設置

部長 田原ミツキ



今年、常任委員という役をおしつけられて困っている矢先、保健給食部長という新しい部を与えられ、どうしたらいいのかと思っている私です。

で眼瞼の翻転をせず、視診で判別し、疑しいもののみを検査する様にと厚生省より告示されました。又この出血急性結膜炎は罹患者の内千人に一人位の割合ですが、末梢の運動神経麻痺を起すそうです。それで、今回の厚生省の告示となったものと思います。

伝染病である「トラコーマ」とか、栄養失調による夜盲症などを殆んど見受けないう現在では学校の眼科の検診の目的も目の本来の働きである視機能検査に向けられるべきと思

年間事業計画が、六月一日から実行されます。初めに、三小の給食施設の問題点、改善点について研究して行きたいと思っております。三小をよく知ってから、二小米飯給食の施設について見学研究をして、その後、主食会をしていただき、十月に栄養士との懇談会を予定しております。何んといっても、初めての保健給食部ですので、本田先

生を初め、員の皆様の御意見や、御希望をお聞きして、部員の方々とも一生懸命頑張りたいと思っております。どうかよろしくお力添えをお願いいたします。

保健給食部の本田先生も、部員の皆さん方も、よい人たちがばかりです。何んといっても初めて作られた部ですので、とまどっております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 食物の 三つの目的

教諭 板倉文枝

わが国の学校給食制度も実施後三十一年目を迎え、学校給食へ米飯の導入が制度上明確に位置づけられてから、一ケ年を経過した。

本市でも、六月より週一回米飯給食を実施することになった。米は一、二、三年八〇、四、五、六年九〇である。米飯は、あつみ製パン会社より、学級別に飯缶で炊かれ保温材を使用したパン箱に入れて配布されるので、児童は、温かい、おいしい米飯を食べることが出来るわけである。たべものの三つの目的 人間生命の糧である食物には三つの目的がある。

一つは人間という神秘的機械の燃料として重要な役割をもっている、恰もそれはエンジンの燃料、ガソリンと同様な作用をもっている。食物の大部分は体内で消費され更に複雑な分解作用をおこし熱や力を生じ、常に一定の体温を保ち活動することが出来る。二つにはこの神秘的機械の組立材料となることである。筋肉をはじめ、毛髪、爪にいたるまで又胃腸、心臓肺臓などの諸器官はいずれも食物中の種々な成分から作られている。前者は主に澱粉や砂糖、脂肪の類であり、後者は主としてたん白質で、その他種々な無機質や脂肪もこれを補佐する。三つには機械が組立てられ燃料が整えば、いよいよ運転をせねばならない。運転をするには機械油が必要である。この潤滑油に相当するものがビタミンである。健康であるためには食物と栄養素のバランスを考えねばならない。市教委より配布される、学校給食献立表は以上のような事を十分考慮されて作製されているので、米飯給食が取り入れられて、よりよい楽しい給食が出来るものと期待している。

# 学校職員紹介

校長	原口 晃	五年一組	本田 智子
教頭	本多 末勝	五年二組	西田 康男
愛護学級(低)	浜本 フキエ	五年三組	織田 丈治
愛護学級(高)	本田 兼光	五年四組	前田 和美
情障学級	小峰 忠与士	六年一組	吉岡 晃
情障学級	伊藤 節子	六年二組	井上 多喜子
音楽専科	山下 みよ	六年三組	本多 恵子
理科専科	山田 スミ子	六年四組	梅林 次生
習字専科	長岡 照明	六年五組	町田 幸子
一年一組	古賀 スエ子	事務	倉重 夏男
一年二組	内田 美和	事務補	松崎 美春
一年三組	野沢 菊恵	事務補	松崎 美春
一年四組	古瀬 宜子	事務員	片岡 博道
二年一組	板倉 文枝	食	川口 タツミ
二年二組	山崎 博子	食	福本 ハツ子
二年三組	松崎 陽子	食	本田 ユキノ
二年四組	森本 武	食	高山 幸子
三年一組	伊藤 美智子	食	三浦 聖子
三年二組	永野 正弥	食	樋口 正規
三年三組	荒木 利治	食	河原 弘
三年四組	小川 準子	校	石本 雅徳
四年一組	中島 一雄	校	平野 雅徳
四年二組	森本 大作	校	本野 芳保
四年三組	丸山 尚子	校	
四年四組	森枝 美子	校	

## 修学旅行を 引率して

六年担任 梅林次生

子供さん達が一番楽しみにしていた修学旅行が無事終わりました。二日間とも快晴で心の中まで晴れわたっていました。

天草松島の展望台では、無料の望遠鏡(実は故障)があるので言ってさわざ、車の中では、ガイドさんの話を耳を傾け、歌やゲームに興じていました。

また、水辺動物園では、動物の見学の方に費した者、色々な乗物に乗って楽しむ者、一つの乗物に何回も乗って、他のものには目もくれない者ゲームに夢中で、乗物には全然乗らない者。普段の授業から解放され、自分の興味のあつるものを自由に選択できるとき、子供さんの個性が生き生きと輝いてまいりました。

さらに、みんなの中にうちとけて、心ゆくまで旅を楽しんでいる子供さんの顔は、すがすがしさと、生気にあふれていました。

ここに修学旅行の意義があつたように思います。

秩序ある行動の中にも、おたがいが助け合い、はげましかつてゐる姿。阿蘇の山上では「あっ」と大きな叫びをあげ、草千里では、草原をころ

び、馬に乗り歓声をあげる姿。旅館でのレクリエーション大会に熱中し、部屋ではしゃぐ姿。寝ることを忘れてしまつたのではないかと思われる者。実に千差万別、生き生きとした姿に感動さえ覚えました。

しかし、そんな中にも、ただ、みやげ物を買うために心をくださず、見物どころか、みやげ物に心をうばわれてしまつているのではないだろうかと思われる子供さんも見受けました。

さらには、決められた金額以上にお金を持ってきて、みんなにいやな思いをさせました。親心がさせるものと思ひますが、もう一つつこんで考えてくださつてほしかったと思ひます。

幼い心がすくすくと育ち、そして、勉学に生かされ、自分自身の中に、旅行の意義を発見しているお子さんこそ、修学旅行の意義をつかんだ人だと思ひます。

来年は、もっと、立派な旅行でありますよう、祈念してやみません。

「がんば」のお味はいかがですか。従来「がんば」は皆様のお手もとで、どの様に料理されていきますでしょうか？良い味を味合せていらつしやいます。私共作成致します

## 編集後記

通知表と一緒にお手もとに届いていました「がんば」。本年は型破りを致しまして七月初に発行致しました。今回は特に校医でいらつしやいます平野先生に原稿を戴けましたこと心からお礼申します。

「がんば」も今回で五〇号を数えます。此れも皆様の御協力のおかげと感謝致しております。少数部員ではありませんが、おしやべりする間もおしむ程懸命に編集にとり組み全力投球しています。与えられた予算内で少しでも豊かな内容で愛される「がんば」にすることに部員一同張り切つてやっています。皆様御声援下さいませ。